第2章　環境の状況

1 社会環境

塩竈市は、宮城県沿岸部のほぼ中央部に位置し、南は多賀城市と七ヶ浜町に、西及び北は利府町に隣接しており、東は松島湾、また島嶼※部（浦戸地区）は海峡（鰐ヶ淵水道）を隔てて鳴瀬町宮戸島に接しています。総面積は、県内市町村の中でも、七ヶ浜町に次いで2番目に狭いものとなっています。

※島嶼／小さな島々のこと。環境基本計画では、越の浦と浦戸諸島をあわせて島嶼部としている。

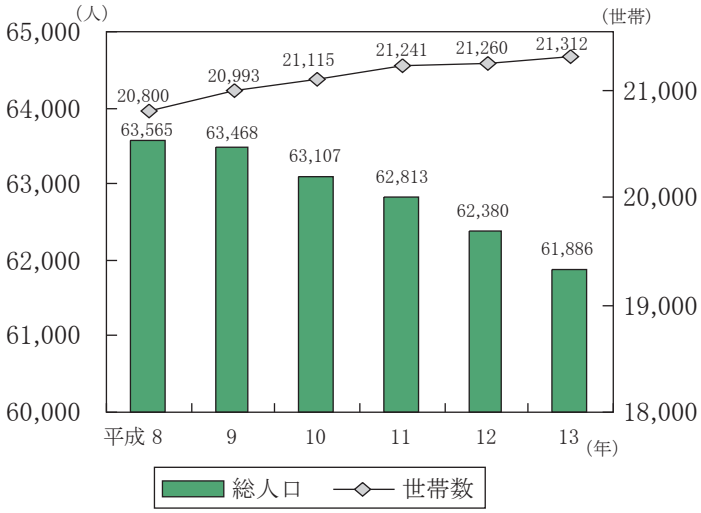
市の位置

東経・	141° 1’ 31”
北緯・	38° 18’ 41”
面積・	17.85km^2

出典：「塩竈市統計書」

▶人口

人口は、平成13年12月末現在で61,886人となっており、過去5年間の推移を見ると、緩やかながら減少傾向にあります。

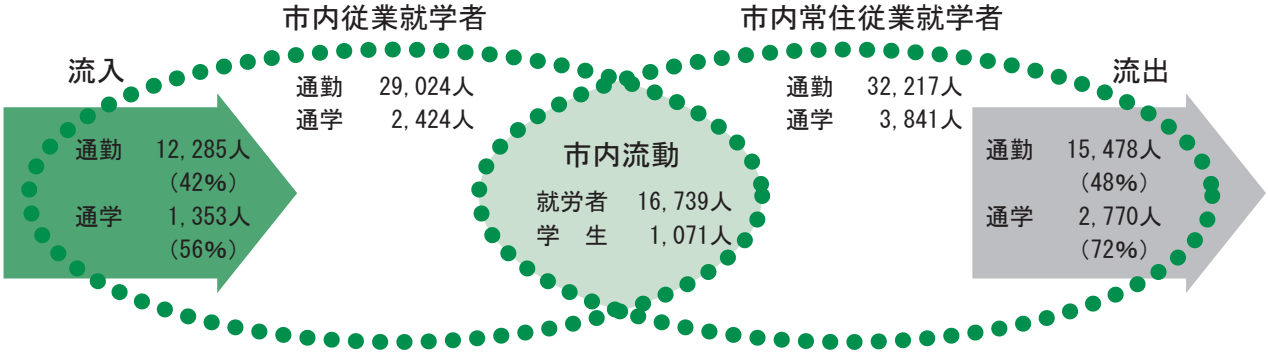


出典：「塩竈市統計書」

図1-1　総人口と世帯数の推移

▶人口流動

市内で従業する就業者のうち、他市町村からの通勤者は全体の42%、市に常住する就業者のうち、他市町村への通勤者は全体の48%となっている。また、市内の就学者のうち他市町村からの通学者は約56%、市に常住する就学者のうち、他市町村へ通学する人は約72%となっている。



出典：「塩竈市環境現況調査報告書」

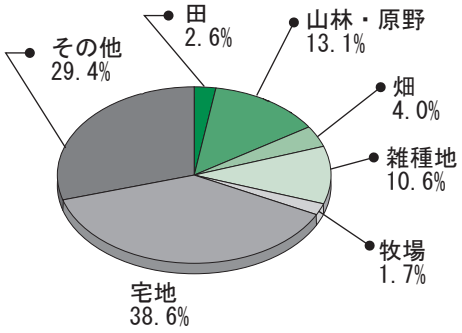
図1-2　塩竈市の通勤・通学における人口流動イメージ

▶ 土地利用

土地利用は、宅地が全体の37%を占め、農地や山林等の自然的土地利用面積を大きく上回っています。

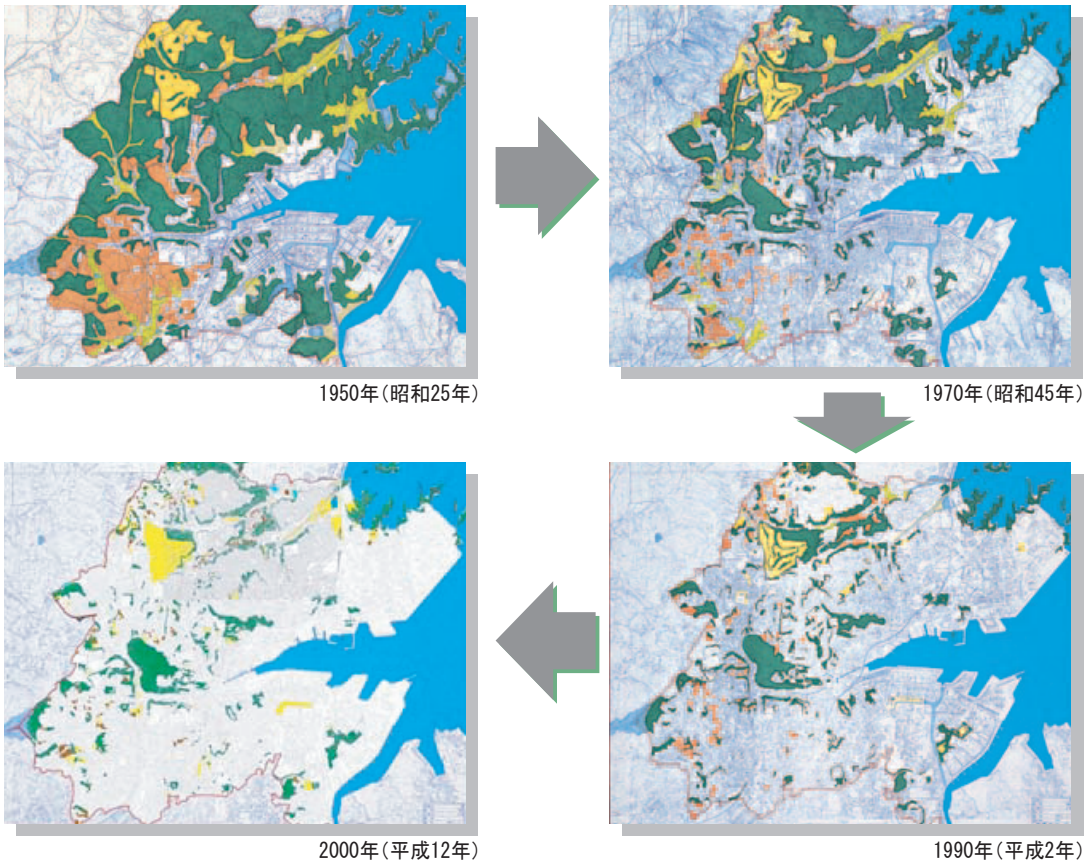
市内では、赤崎地区、塩竈神社社寺林（一森山）、桂島、野々島、寒風沢島、朴島等の地区が風致保安林※に指定されており、浦戸諸島は国の特別名勝とともに、県立自然公園※に指定されていることから、土地の改変や開発行為等に規制がかかっています。

また、加瀬沼とその一帯周辺が、宮城県の緑地環境保全地域※に指定されています。



出典：「塩竈市の環境」

図1-3　地目別土地利用の状況（平成13年度）



出典：「塩竈市環境現況調査報告書」

図1-4　緑の変遷

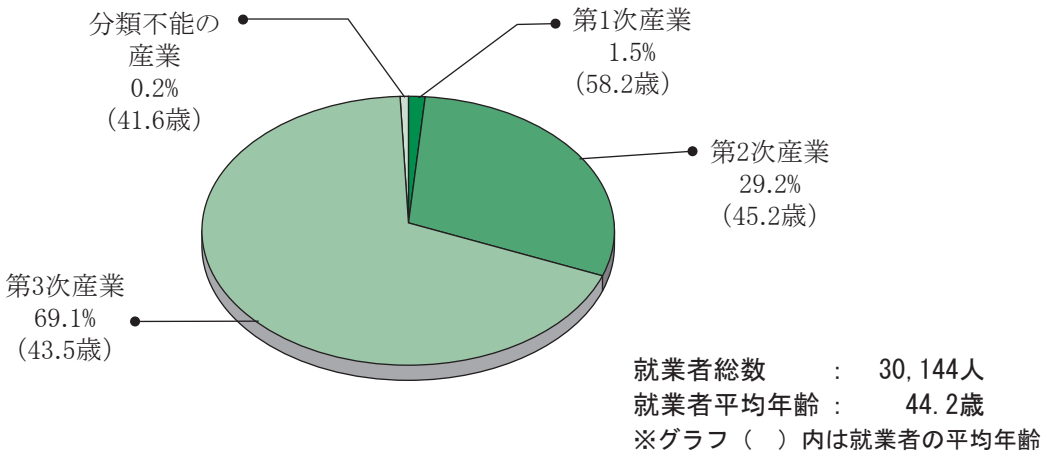
※**風致保安林**／社寺・名所・旧跡の景観や自然景観を維持するために、森林の伐採などの制限をおこなっている森林のこと。

※**県立自然公園**／優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、県民の保健・休養及び教化に資することを目的として、県が指定するもの。土地の所有の如何にかかわらず区域を画して指定される公園のこと。

※**宮城県の緑地環境保全地域**／県自然環境保全地域以外の区域で樹林地、池沼等特に良好な自然環境を形成し、都市環境又は都市構成上その存在が必要と認められる区域でその面積が規則で定める面積以上のもののうち、自然的社会的諸条件からみてその区域における自然環境を保全することが当該地域の良好な生活環境の維持に資する地域。

▶産業

平成12年における就業者総数は30,144人であり、第3次産業の就業者が最も多くなっています。一方、第1次産業の就業者は全体の2%に満たず、就業者の平均年齢も高い状況にあります。



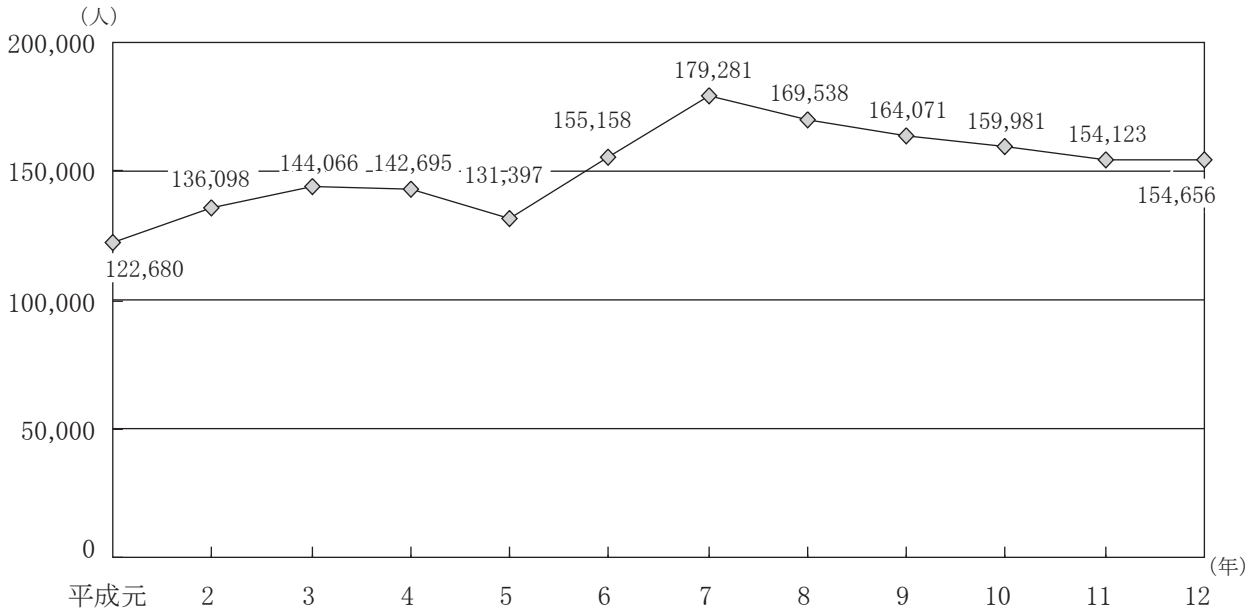
出典：「平成12年国勢調査」

図1-5　産業別の就業者構成（平成12年）

▶市内循環バスの利用状況

市内循環バスは公共施設やJR駅等を連携し、日常生活の利便性向上を図ることを目的に、昭和63年より運行開始し、平成8年にはマリンゲート塩釜へ路線を延長してきています。

乗車人数は平成7年をピークに、平成8年以降減少傾向となっています。



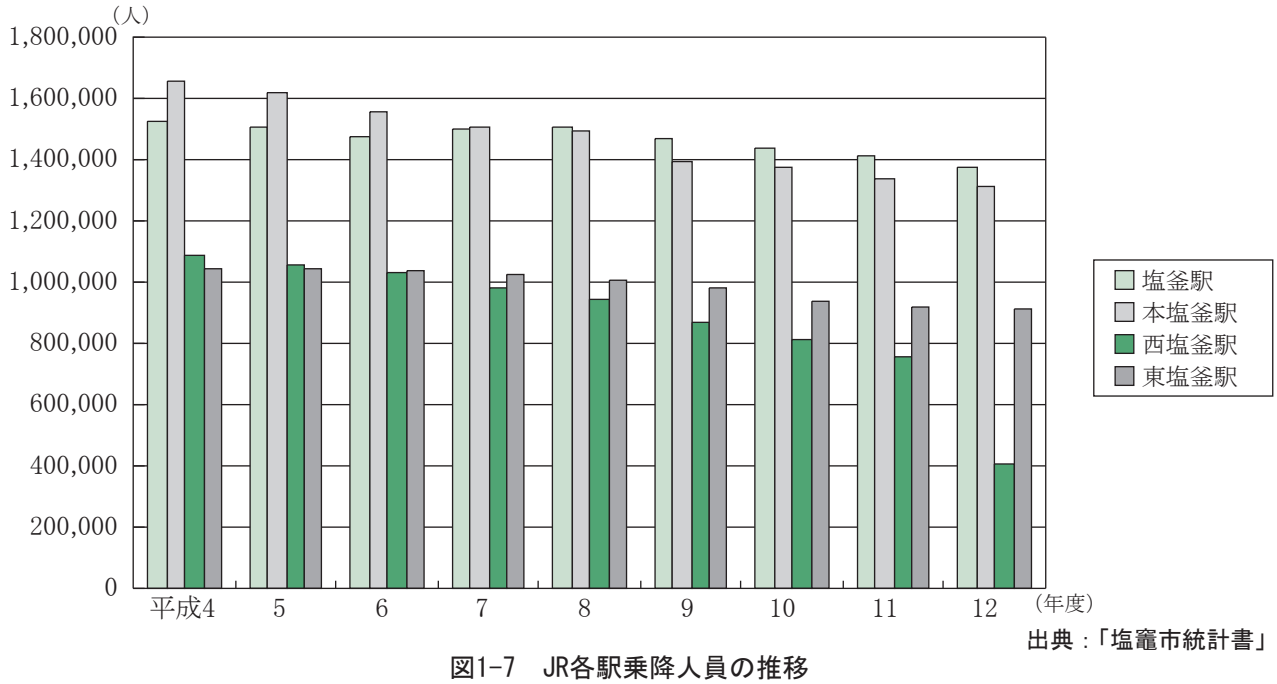
出典：「市民課調」

図1-6　循環バス乗車人員の推移

▶ 市内JR各駅乗車人員の推移

市内には、JR東北本線とJR仙石線の2つの路線があり、JR東北本線には塩釜駅が、JR仙石線には、本塩釜、西塩釜、東塩釜駅の3駅があります。

各駅の乗降客の推移は全体的に減少の傾向にありますが、特に西塩釜駅で減少しています。

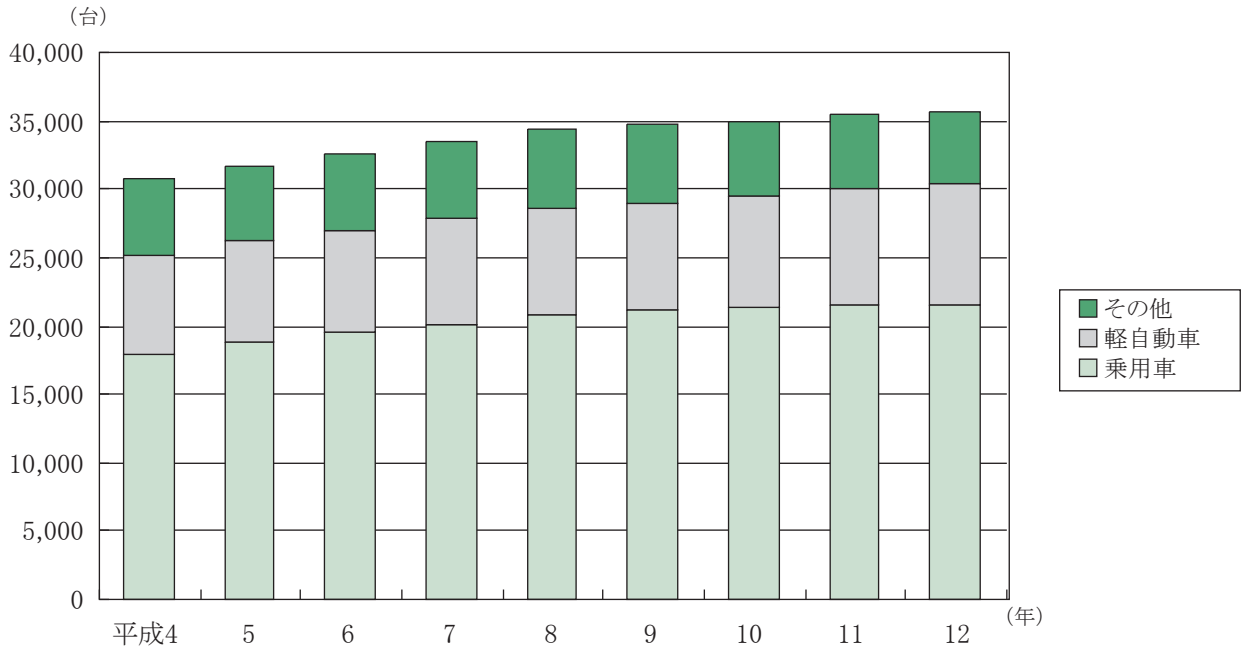


出典：「塩竈市統計書」

図1-7　JR各駅乗降人員の推移

▶ 市内自動車保有台数の推移

自動車保有台数は、乗用車、軽自動車については増加傾向にあり、貨物自動車などその他の車種については減少の傾向にあります。



出典：「塩竈市統計書」

図1-8　自動車保有台数の推移